

Japaneseman In NY (ニューヨーク生活)



成田国際空港

それ以前も、小学校低学年の時に入団した地元の少年野球チームを半年くらいで辞めてしまった時も、怒られたり口うるさいことを言われることもなく、寧ろ自分を擁護してくれていた父。相談もなく、いきなり単身アメリカ一周旅行を敢行したり、ニューヨーク行きを決めてしまった自分を当時どう思っていたのか、生前に聞く機会にはなかったが、言いたいことはたくさんあったのかもしれない。突発的に奇想天外、想定外のことを考えることがある自分に対して、何を考えているのか分からなかったということもあるだろうが、心配はかけてしまうけど、迷惑は絶対にかけないという自分の信念、自分でやりたいと思ったことに関しては、一度決めたら言うことを聞かないという自分の性格も分かっていたのかもしれない。

いずれにしても、ニューヨーク生活スタート時に母も同じく、父からもネガティブな発言が一切なかったことが、その後のニューヨーク生活を満喫出来た要因の一つであったのかもしれない。「親の心子知らず」とはよく言ったもので、当の本人は、ニューヨーク生活時に親のことを心配したり、親のことを思い出したり懐かしむこともほとんどなく、一瞬たりともホームシックになることもなかったのだが、自分が子供を持って初めて、当時の両親、父の気持ちが分かるようになった気がする。

今も忘れはしない、1993年3月31日。ニューヨーク生活をスタートすべく成田国際空港に向かった日。空港には大学時代に所属していた音楽サークルの同僚や後輩が10人ほど見送りに来てくれていた。同僚や後輩と談話し、別れの言葉を交わし、握手などをして、そろそろ出発ゲートに向かわなければならない時間が迫った時、目線の先に父の姿が目に入った。見送りに来ることなど一切知らなかったが、少し離れた場所でボツンと立ち、周りに気を遣いながら優しい表情を浮かべていた父の姿は今でも鮮明に覚えている。

あの日から月日が流れ、結局、孫の姿を見せることでしか親孝行らしいことはできなかったが、父が旅立った時に真っ先に思い浮かんだのは、空港での父の姿だった。また、この雑誌「The Walker's」が発行される度に父に渡していたのだが、実家で父の遺品を整理していた時、生前父が愛読書や書き物を並べていた本棚に「The Walker's」も並べていてくれた…。86歳まで健康で大往生だったと思っているが、家族思いでもあった父には感謝の気持ちしかない。

Hawaii Walker's (ハワイの歩き方)

Ali'iolani Hale

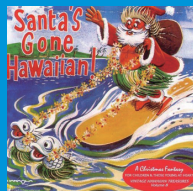
アリイオラニ・ハレ (ハワイ州最高裁判所)

今回はオアフ島ホノルルのキング・ストリートに佇むアリイオラニ・ハレ＝ハワイ州最高裁判所。ハワイ王国最初の政府ビルとして1874年に完成し、立法府、財務局、衛生局、教育委員会と共にハワイ州最高裁判所が置かれた。カメハメハ大王像の後ろに佇む歴史的建物として有名だが、ハワイを舞台にした人気海外ドラマ『Hawaii Five-0』の本部として使われており、『Hawaii Five-0』ファンには馴染みの名所。建物内は無料で見学が可能のため、ハワイの歴史を学ぶには最適なスポット。

《 Journey to NY! 》

今回はニューヨーク生活スタート時の話。私事です、この3月に父が86歳で天国に旅立ちました。大学3年生の夏に1ヶ月間の単身アメリカ一周旅行を敢行した時も、帰国後に卒業後は絶対にアメリカに行こうと決め、就職活動を一切行わずにアルバイトばかりしていた時も、そして、実際に卒業後に渡米することになりニューヨーク生活をスタートすることが決まった時も、ネガティブな発言や日本に留まること、就職するように促すようなことも一切言わなかった父。けて陰険な関係ではなかったが、自分も年頃だったこともあって、当時父親とはほとんどロクに会話もしていなかったと思う。

《 ハワイな一枚 》



サンタズ・ゴーン・ハワイアン

Various Artists

Jay Hawaiian Music [Import CD]

ラッキー・ラック、ジェノア・ケアヴェ、ジェノア・ケアヴェ&ハー・ハワイアンズ等によるクリスマスファンタジーな7曲を収録。オリジナル盤は1959年発売。